

本人・保護者と共につくる支援シートI これまでの支援 これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
よこすか いちろう 横須賀 一朗	□□中学校 ↓ ◇◇養護学校 高等部		○横須賀 よう子 (母親) ○衣笠 栄 (担任) 津久井 南 (養護教諭)

*記入者には○印をつける

Needs	本人・保護者の 願い	<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校高等部を卒業した後は、就労を希望している。 ・養護学校高等部の3年間で、情緒の安定を図り、集中力が継続するような指導をしていただきたい。
	家庭生活・ 健康	<ul style="list-style-type: none"> ・現在排泄は、下着をすべて脱いで洋式個室を利用している。この3年間で、自力での排泄を身に付け、社会生活に適応できるような指導をお願いしたい。 ・地域のボランティア等はこれまで利用したことがないので、今後利用をしていきたい。

Do	項目	内容
これまでの 取り組み	生活面 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉かけを多くすることにより、言葉の数が増えるとともに情緒が安定してきた。 ・本人の「嫌だ」のサインを尊重することで、イライラ感を軽減することができた。 ・家庭との連絡を密に行い、睡眠時間を把握した上で指導を行っている。 ・気温が下がると排泄感覚が短くなるので、小まめな声かけを行っている。
	学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では学習のパターンが決まっていると気持ちが安定し、不安感の軽減につながっている。 ・信頼関係の築けている教師ができるだけ同じ教室にいるようにした。

See	これまでの 取り組みの 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ指導については、スモールステップを設定して指導を繰り返してきたが、取り組む時間が短かったからか中学校段階では大きな進展は見られなかった。今後も継続した指導が必要である。 ・言葉の数が増えたことで、教師だけでなく友達との関わりも増えてきた。
	学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼できる教師が教室内にすることで、集中して学習に取り組むことができた。 ・見通しを立てることで、スムーズに学習に取り組むことができた。

Plan	これからの 計画(一年 間)	<p>受け手側の学校・ 機関で記入します</p> <p>これからの 指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人が発しているサインを尊重しつつ、新しい課題に挑戦できるよう信頼関係の構築と環境の整備に取り組んでいく。 ・排泄の自立に向けて、段階をおって計画的に支援する。 ・休日にボランティアや福祉サービスを利用し、余暇の充実を図る。 ・家庭との連携をもとに、日課表を作成し、本人の自覚を促す。 ・就労を前提として、社会のルールなどを生活の中で教えていく。
------	----------------------	--